

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年12月9日(木)13時40分～15時10分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

有吉上席安全審査官、北條主任技術研究調査官、小舞管理官補佐

加藤原子力規制専門員

検査グループ

核燃料施設等監視部門

木村主任監視指導官

専門検査部門

村尾企画調査官、石川技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他10名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○また、原子力機構より、ガラス固化技術開発施設（TVF）におけるガラス固化処理の再開に向けた対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料2について）

- ・更新や交換等に係る基本方針を廃止措置計画において示し、当該方針に沿った更新や交換等について保安規定等に基づく管理を実施することは否定しないが、これまでの設工認申請や設工認レベルの廃止措置計画変更認可申請の実績との比較などにより、当該運用の合理性や安全性を説明すること。
- ・更新や交換等の具体例として示されているものについて、設計及び工事の品質の確保の方法として耐震設計を中心に記載しているが、同等の機能をどのように担保するかについても考え方を示すこと。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料 1 工程洗浄の実施について

資料 2 更新や交換等に係る廃止措置計画変更について

資料 3 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）